

■2014 年 6 月 28～29 日 キタダケソウ観察会・大樺沢雪渓訓練

鈴木 陽介（一橋大学山岳部：社会学部 1 年）

***** 2014 年 7 月 9 日投稿 *****

1、概要

入山期間	平成 26 年 6 月 28 日から平成 26 年 6 月 29 日まで		
目的	①NPO 法人「芦安ファンクラブ」が主催する「平成 26 年度キタダケソウ観察会」に参加する。 ②大樺沢の雪渓でアイゼンとピッケルを用いた登山の練習をする。		
入山地域	南アルプス 北岳周辺（広河原山荘-白根御池小屋-大樺沢-北岳の手前）		
参加者	山岳部	1 年	鈴木陽介（社会学部）
	針葉樹会	OB	竹中彰（昭和 39 年卒）
		OB	本間浩（昭和 40 年卒）
集合	平成 26 年 6 月 28 日午前 11 時 広河原		
解散	平成 26 年 6 月 29 日午後 3 時 30 分 広河原		
交通機関	立川-（中央本線）-甲府、甲府駅-（山梨交通バス）-広河原		

2、決算

支出	参加費	12,000 円
	交通費	7,420 円
	合 計	19,420 円
交通費詳細		
	①立川-（中央本線）-甲府	1,660 円
	②甲府駅-（山梨交通バス）-広河原	2,050 円
	③広河原-（山梨交通バス）-甲府駅	2,050 円
	④甲府-（中央本線）-立川	1,660 円
	合 計	7,420 円

3、行動記録

6 月 28 日（土） 天気 雨のち曇り

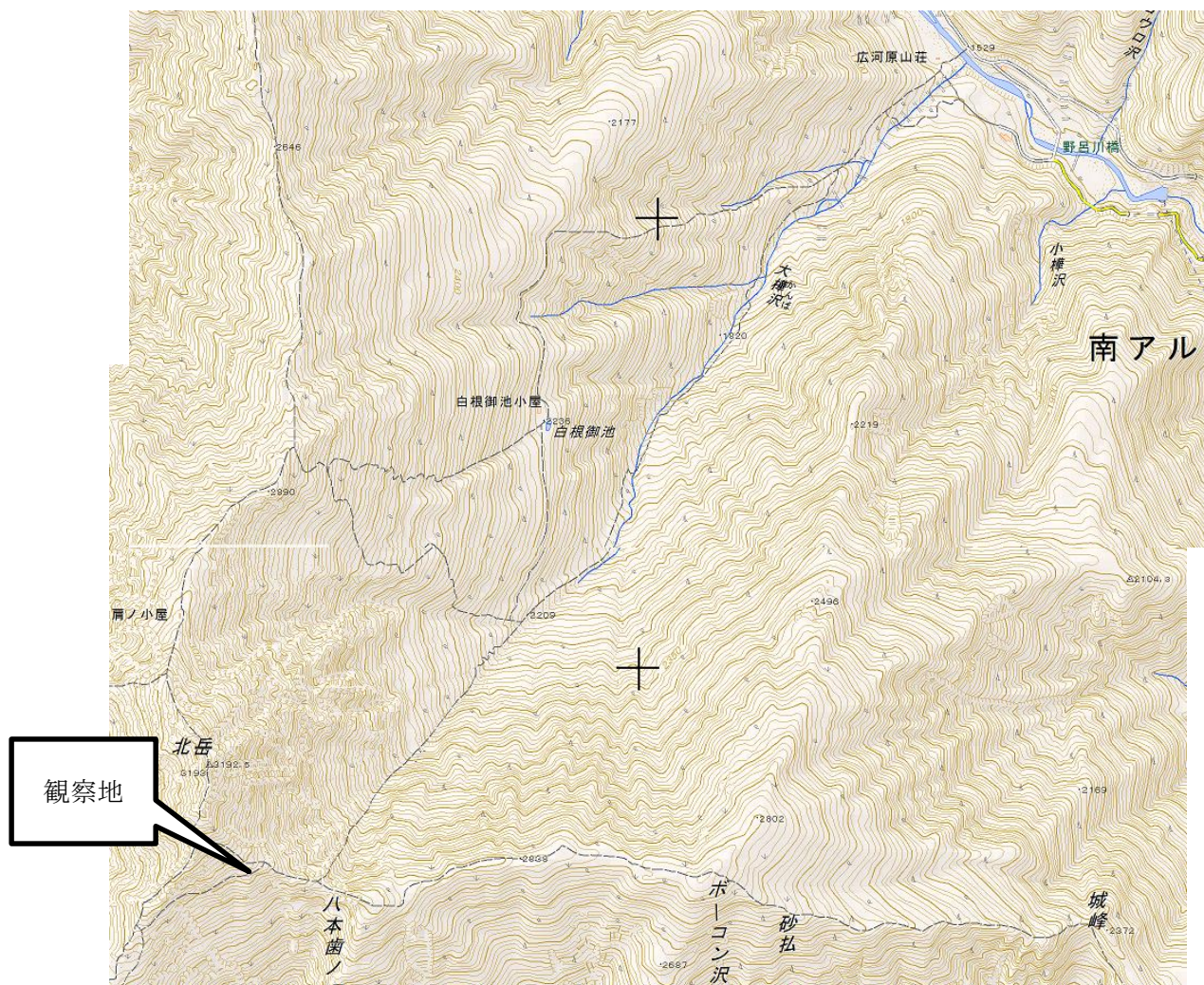
0643	JR 立川駅 乗車 (JR 中央本線 甲府行)	
0838	JR 甲府駅 下車	
0900	甲府駅 乗車 (山梨交通バス 広河原行)	雨、強くなる。
1110	広河原 下車 昼食	雨、あがる。 そばともちを食う。
1158	広河原山荘 到着 集合	少し雨。 体調良好。
1215	班分け、準備運動	2 班に配属。
1220	出発	ガイドの清水さんに植物を詳しく解説してもらおう。雨、少し降り続け、湿度が高く
1323	第一ベンチ 休憩	気分悪い。途中、傾斜きつい。
1404	第二ベンチ 休憩	
1518	白根御池小屋 到着	開山祭記念の甘酒を頂く。
1550	懇親会 開始	清潔で設備の充実した小屋。
1800	夕食	豚の生姜焼き。味付け、辛め。
2000	消灯・就寝	寝具、清潔。

6 月 29 日 (日) 天気 雨のち快晴

0400	起床	一晩中、大雨。
0500	朝食	焼鮭の定食。
0600	出発	出発の時刻になると、雨やむ。各自準備体操。
0601	白根御池	
0626	二俣 アイゼン・ピッケル準備 荷物の一部をデポ。	8 本歯アイゼン使用。ピッケル、OB の本間さんより借用。
0649	雪溪登り開始	傾斜、だんだんきつくなる。晴れ、見晴らし良好。鳳凰三山がよく見える。落石発生するも被害なし。
0717	休憩	
0742	休憩	
0814	休憩	
0900	雪溪登り終了	岩場に梯子がよく整備されている。バットレスがよく見える。富士山が雲の間から一瞬見える。展望良好。岩場険しい。
0941	八本歯ノコル 到着	小屋の弁当。
1032	目的地 到着 (地形図参照) 昼食	群生していた。高山植物豊富。
1049	キタダケソウ 観察	1 名転倒。怪我なし。
1120	下山開始	
1143	八本歯ノコル 到着	班編成変更。我々は先発隊。

1226	雪溪下り開始	傾斜に恐怖。2回程滑落しかける。日差しが強い。展望良好。
1333	二俣 到着 荷物回収。	
1350	雪溪下り終了 休憩	
1401	出発	
1508	休憩	
1532	広河原山荘 到着 解散	
1626	広河原 乗車 (山梨交通バス 甲府駅行)	
1830	甲府駅 下車	
1944	JR 甲府駅 乗車 (JR 中央本線 大月行)	
2033	JR 大月駅 下車	
2050	JR 大月駅 乗車 (JR 中央本線 東京行)	
2155	JR 立川駅 下車	

4、地形図



5、記録写真



▲出発直前【6/28 12:09】

▲小屋から望む大樺沢の雪渓【6/29 05:09】

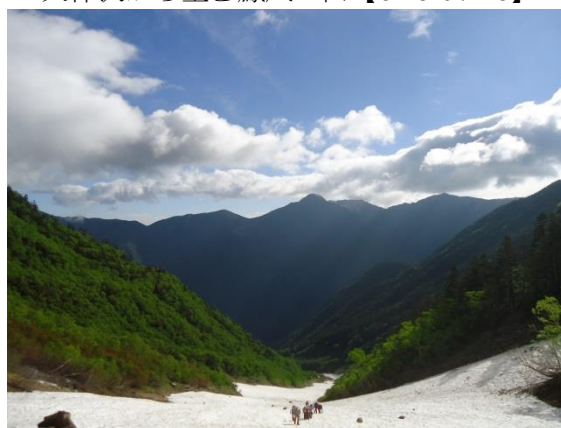


▲キタダケソウ【6/29 10:49】



▲白根御池小屋【6/28 15:18】

▲大樺沢から望む鳳凰三山【6/29 07:16】



▲二俣から雪渓を望む【6/29 13:33】





▲広河原から雪渓を振り返る【6/29 15:53】

6、感想・反省

今回の参加の最大の目的は大樺沢における雪上訓練だった。アイゼンとピッケルを使用した登山は初体験であったが、前日に山岳部部室の雪渓歩きの技術に関する書籍を読んでおいたことと、ガイドの方に使い方を説明してもらったことが功を奏して、事故もなく終わることが出来た。

ただ、部室から持ってきたピッケルが、氷壁用であったことに現地で気が付き、OBの本間さんからピッケルをお借りすることになってしまった。もう少しよく調べればこのような失敗はなかったと思う。

雪渓を下る時には、幾度か滑り落ちそうになったが、滑落停止の姿勢をとれたので、大丈夫であった。これからは、雪上訓練をするたびに今回のことを思い出して、技術に磨きをかけていきたい。

【鈴木陽介】

●2014年6月28～29日 南アルプス開山祭・キタダケソウ観察会

本間 浩（昭和40年卒）

***** 2014年7月1日のメールから転載 *****

1、開山祭 6月28日（土）10時～11時 広河原（小島 本間）

高谷山周辺の登山道整備も、今年4月の道標設置で小周回路が完成、第一段階を終えた。これまで工事指導・資材手配・作業員動員等非常にお世話になった「芦安ファンクラブ」主催の活動にも参加し、「お付き合い」を深めたいと思い、主題の行事に参加することとなった。

開山祭そのものは、首長・議会関係者・関係官庁からの出席者の挨拶が中心で、主動部隊？の「クラブ」の人々がナニ語る訳でも無く、我々にとっては大した意味が無い行事と思う。

終了後一般の人々に「手打ち蕎麦」が振舞われたが、大盛り天麩羅ソバが100杯以上、希望者全員に配られたには驚いた。前日の準備が大変だっただろうと思う。一食の価値有り。

2、キタダケソウ観察会 キタダケソウ生息地（竹中 本間 鈴木（1年））

総勢 20名（男14名 女6名） リーダー 清水（准）

1班 望月 2班 清水 3班 堀内 （一橋 2班）

○28日（土） 白根御池小屋入り

12:15 広河原山荘 出発 雨 尾根道コース

途中草花の説明を受けながら、ゆっくり登る

16:00 白根御池小屋 到着

6時の夕食を挟み8時消灯まで、広間で小屋差し入れのビール他日本酒焼酎やツマミを持ち寄り歓談する。

○29日（日） 大樺沢を詰め八本歯のコル上から北岳小屋への直接ルート中程のキタダケソウ群生地

6時 白根御池小屋 出発 細雨

途中で雨はあがり二俣では青空に変わっていた。大樺沢は残雪が多くアイゼンを着け沢を直登。八本歯への取り付けからコルまでは梯子の連続であった。北岳山荘への分岐で大休止（10時45分～11時30分）。キタダケソウは丁度盛りでハクサンイチゲと混在していて、花と葉による見分け方を学ぶ。班別の記念写真を撮り、下りは男性中心の組とゆっくり組に分かれて下った。

雪溪、特に八本歯の取り付けからは急で慎重に下る。二また化で夏道に入り川沿いの道を広河原へ（15時30分）。

本隊の帰りを待ちたかったが、最終バスが4時30分のため、2班の堀内さんに挨拶してバスセンターに向かう。

○鈴木君

参加者が中高年中心であり、ゆっくりペースのため疲れも見せなかった。

雪上歩行アイゼンピッケル使用、全て初めてだったが、簡単な説明の後危なげ無く、慎重に歩いていた。下りで滑ったが、すぐピッケルを差込みストップ。（事前に練習したわけではないが、思考訓練と本能の結果と思う）

夏山の雪溪登り降りのいい訓練になったと思う。